

p-57-16

# 松戸の活性化へ 聖徳大生「一肌」

聖徳大(松戸市岩瀬)の学生有志が、同市の松戸駅周辺の商店街活性化の手伝いをするボランティア組織「聖徳Pieces(ピースーズ)」を立ち上げ、同駅西口デッキで5日、発足式を開いた。写真。



現在のメンバーは約20人。聖徳大が教育の一環として松戸商工会議所と松戸市に提案し、今後、産官学連携で中心市街地活性化に取り組む。piecesは英語で「一片」「一部分」という意味の複数形。「学生が集まって、ゆくゆくは大きくなる」という意味を込めた。

具体的には、地図やホームページを作製し商店街をPRしたり店を案内したりする▽街路の掃除▽高齢者の買い物支援する▽などの活動を行い、商店街のにぎわい創出の手伝いをする。発足式では、人文学部3年の北詰奈央実さん(21)、仁平妙子さん(21)があいさつをして市民に存在をPR。その後、4班に分かれて商店街でチラシ配りなどを行い、活動に理解と協力を呼びかけた。